


学年	4年	教科	道徳	単元名	世界に広がる日本 4-(6) 愛国心と国際理解
学校名	東根市立長瀬小学校			実践者	安達 和弘
本時の学習活動	資料を見ながら、外国に自慢できる日本の文化のよさを考える。				
ICT活用のねらい	【1 教員による活用】		【2 児童生徒による活用】		
1-3	1-1 興味関心を高める 1-2 課題を明確につかませる 1-3 思考や理解を深める 1-4 知識の定着を図る	2-1 情報を収集・選択する 2-2 文や図表にまとめる 2-3 発表したり表現したりする 2-4 知識や技能の習熟を図る			
活用する機器・ソフト・コンテンツ等	PowerPoint (自作教材) 大型テレビ パソコン ワイヤレスディスプレイ AV 接続セット				
学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> グループ学習	<input type="checkbox"/> 個別学習		
活用の場面・方法	<input type="checkbox"/> 導入の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 展開の場面	<input type="checkbox"/> まとめの場面		
	PowerPoint で作成した道徳資料「世界に広がるメイド・イン・ジャパン」「世界が驚いた日本人の行動」を提示し、画像やデータをもとに日本製品が世界中に広がっていった理由や日本人の取った行動の理由などを考えさせる。				
活用のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>PowerPoint のアニメーションを有効に使い、資料の中にクイズ形式を取り入れ、資料に対する児童の興味を引き出す。</li> <li>大型テレビを可動式のテーブルに載せ、資料を見せるときは黒板前に設置し、考えを発表したり黒板に板書したりするときは黒板脇に移動させる。</li> </ul>				
児童生徒の学びの様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>PowerPoint を使い画像やデータをクイズ形式で提示することで、資料に対する興味が持続し、集中して考えることができた。</li> <li>PowerPoint で価値に関わる内容を整理して提示したことにより、児童の思考がぶれず、価値を捉えた考えにつながっていた。</li> <li>大型テレビを移動式にしたことで、姿勢を変えずに資料を見たり、黒板に学習カードに書いた自分の考えを掲示したりすることができた。</li> </ul>				
活用の様子 (写真)					
実践を通して感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>自作教材のよさは、ねらいに沿った内容を盛り込めることである。また、PowerPoint で児童の反応を確認しながら進めることもでき、実態に応じた流れをつくりやすい。ただ、PowerPoint で資料を作成する際に伝えたいことが多くなり、アニメーションも多用すると時間がかかるので、導入で前半の資料をいかにシンプルに扱うかが課題である。</li> <li>PC からワイヤレスで大型テレビへデータを送信することで、大型テレビの移動がスムーズにできた。黒板も併用することで、学びの足跡が分かり、価値の高まりを振り返ることができた。</li> </ul>				